

東京都西多摩郡瑞穂町議会

1 政策づくりと監視機能を十分発揮している議会

議会活動を住民に身近に感じてもらい、審議内容や議会の仕組みを住民に理解いただくために、年1回、6箇所で開催している「議会報告会」を実施している。この報告会は直接住民の意見や提案をくみ上げる機能も果たしており、議会での議論活性化の一助ともなっている。

常任委員会も町内外の視察によって見聞を広めるだけでなく、関連する団体との意見交換会を積極的に開くなど、課題に対する調査研究から意見提言へと実績を積んできている。

また、町議会では予算・決算以外にも基地対策、公共交通、災害に強いまちづくりの特別委員会を設け、例えば公共交通では、昨年度町が導入した福祉バスへの改善点を提言し、また、災害に強いまちづくりでは自主防災組織のあり方などに関する提言や要望を町に行い、その実現に力を注いでいる。

さらに、横田基地を抱える自治体として、基地の騒音は住民の生活に直結する課題であり、従前から様々な要望活動を都や国に向けても展開している。

2 住民に開かれた議会

「みずほ議会だより」を町内全戸及び事業所に配布し、定例会に関する事項を中心に議会情報を発信している。

また、一昨年より議会報告会を年1回・6会場、(初年度は年2回・各6会場)で開催し、住民と膝を交え、議会内容の報告に留まらず、意見交換も行っている。

さらに、昨年度より、本会議のインターネット中継を開始し、議会傍聴に来られない方にも議会の様子を見ていただけるようにした。それと同時に、町議会ホームページも「見たい・知りたい」情報に少ない手順でアクセスできるよう、また、見たくなるようなデザインにリニューアルした。

上記をはじめ、あらゆる媒体を駆使し、開かれた議会を目指し、研究・実践している。

3 地域振興のために特別な取り組みをした議会

都市部の町として農、工、商、観光そして住のバランスがとれた町が「みらいに ずっと ほこれるまち」としての基礎と位置付けている。

常任委員会である総務産業建設委員会で農業委員会との意見交換会を行い、瑞穂ブランドとしての特産品の積極的な展開を町に要望するなどしている。

また、地域経済の活性化と雇用の創出を図る上で企業誘致策や町の基幹産業ともいべき「ものづくり」の中小企業への支援策を町、商工会と連携しながら要望するなど、地域振興に力を注いでいる。

町では現在第4次長期総合計画を実施中であり、協働型社会の形成に向け諸々の施策を展開中であるが、協働型社会形成に果たす議会の役割は大きく、今後も住民の意見、提言をくみ上げ、更に住民の町政への参画を積極的に得るよう議会報告会等を活用していく。